



小中学校音楽鑑賞教室

5月21日(水)・22日(木)



第 772 号

発行人 ● 豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人 ● 長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村

(6月1日現在 ※外国人を含む)

男	3,225人
女	3,242人
総人口	6,467人
世帯数	2,252戸

フルート・サククス・ピアノ プロの演奏を堪能

今年度も、五月二十一日・二十二日に小中学校での音楽鑑賞教室を開催。今回演奏してくださったのは、フルート・サクソフォン・ピアノの演奏家「TORIOM」の皆さん。クラシック音楽や楽器紹介、小学校では校歌まで、プロの演奏を堪能しました。この日は、五月にわかかわらず最高気温が30℃を超えた日。そんななか、さわやかに素敵な響きを聴かせていただきました。

プロの音を聞いて

豊丘中学校三年

代田 絃貴

豊丘中学校で五月二十一日に今年も音楽鑑賞教室が行われました。今回来てくださったのは、フルート、サククス、ピアノの三人グループ「TORIOM」の皆さんです。演奏では、「怒りの日」などのクラシック

曲や、「ケセラセラ」などのポップス曲を演奏してくださいました。私を含めた生徒は、クラシック曲での美しい響きに聴き惚れたり、ポップスのリズムミカルな演奏でノリノリになったりしていました。また、曲の間には楽器の紹介やクイズなどをしてくださり、楽しみながら音楽の知識も深めることができました。そして

音楽鑑賞教室

豊丘南小学校六年

穴久保 史葉

私は音楽鑑賞教室で一番心に残った音楽はサククスがメインのコナンの曲です。一番の理由は、コナンの

曲を五年生の時の音楽会で演奏したからです。パンフレットには、ひみつと書いていたから、まさかコナンを吹いてもらえるとは思っていませんでした。その時に、「やっぱりプロの人が吹くと全然ちがうんだな」と思いました。

もう一つの理由は、かっこいいと思ったからです。前からずっと、コナンを木管楽器で吹いたらカッコよくなるだろうなと思っていました。いざ書いてみると、想像していたより何倍もかっこよかったです。今回は、すごく貴重な体験ができたと思います。コナンだけでなく、「ケセラセラ」や「羽衣」もすごくすてきでした。貴重な体験をありがとうございました。



成人講座 ゆっくり、深呼吸 心をととのえる時間

スマートフォンやSNSが当たり前になり、何かと忙しい現代の暮らし。気がつけば、私たちはいつも何かに追われているような気がします。

そんな時代に注目されているのが「マインドフルネス」という考え方です。

五月二十八日、ゆめあるで「ストレス社会に役立つ心の整え方 マインドフルネス入門」と題した講演会が開かれました。お話を

してくださったのは、精神科のお医者さんであり、臨済宗建長寺派の禅僧でもある川野泰周(かわの・たいしゅう)さんです。

目を閉じて、静かに自分の呼吸と向き合います。ほんの数分でも「今ここ」に心を置くことで、気持ちがすっきりすることを体感できました。

講演の中では、実際に呼吸に意識を向ける簡単な練習もありました。参加者は

「マインドフルネスは、誰でも毎日の生活の中に取り入れられる。心の休み時間です」と川野さん。自分の経験を交えながら、不安やいらだちとの付き合い方、忙しい中でもできる心の整え方を、わかりやすく



語ってくれました。講演を主催した成人講座運営委員会の越野清司さんは、「今はストレスが原因でいろいろな事件や事故が起きている時代。自分の心と向き合い、それぞれができることを考えるきっかけになった」と話していました。毎日の暮らしの中で、少し立ち止まり、自分の心にそっと耳をすませてみることで、その大切さを教えてくれる講演会でした。

(王生雅穂)

段丘

水田が夕陽に染まる六月、田植えが終わる早苗が風に揺れ、紅に染まる水面は時間をかけ苗をお米へと育むベツトとなる。お米といえは最近の米不足に頭を悩ませてしまう。どこの小売店やスーパーに行っても米がないのだ。これほど田んぼが多く豊かな水量の豊丘村なのに、米が足りないというのだ。日本人は米が主食のはずが食べる米が不足している現状に不思議に思ってしまう。もしかしたら政府の推し進めるインバウンドにより、外国人の日本食の寿司や丼物とお米を使う料理も原因なのだろうか。政府の備蓄米もどこに廻されたのか、そして米の価格もびっくりするほど上がっている。食事は今では小麦を使った麺類やパンが多くなってしまった。お米に限らず物価高も追い討ちをかけ、家計は苦しくなってきた。村から支給される商品券はともありがたい。少しでも足しになればもう少し生き延びられそうである。

この状況を早急に対処してくれる政治を望む。



(宮下正弘)

「コミュニティスクール」ってなに？

新連載 第1回
地域学校協働本部運営委員会を
紹介します

聞き慣れない委員会名ではないでしょうか？

小中学生がいらないご家庭の方にもどんなことをやっている会なのか知っていたら意味でこの委員会をご紹介します。

本村では「地域が学校を応援する仕組み」として「コミュニティスクール」という制度を平成二十八年から導入し「豊丘村コミュニティスクール・地域学校協働本部運営委員会」を設置しその活動を支援しています。

時代の変化と共に教育を取り巻く様々な課題に対して、子どもの教育に学校だ

公民館長 市澤和宏

が役割と責任を負うのではなく、地域の応援の力を学校に注いで子どもを育てることが求められるようになってきたことが背景にあります。特にこの頃では先生方の働き方改革が大きな課題となっています。

実施要綱・規則に基づき運営されており、会の構成メンバーは保護者代表・学校支援ボランティア代表・校長・公民館・教育委員・社会教育委員・民生児童委員協議会・社会福祉協議会・小学校の地域コーディネーターなど十八名と事務局です。

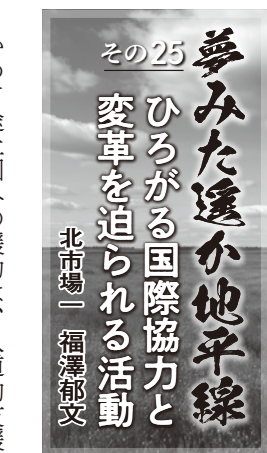
この会の主な活動内容は村内住民を中心に「学校支援ボランティア」を組織し住民の皆さんが地域や人生で培った知識・経験を子ども達のために活かしていただくことです。毎年組織を更新しながら活動しています。令和七年度は三校併せての二百二十名余の方が学校支援ボランティアとしてご同意いただいております。

ボランティアの内容はクラブ活動講師・教室見守り・田んぼ指導・花壇整備・読み聞かせ・音楽指導・地域伝統芸能指導・スポーツ指導・外国語通訳・図書整理などご自身の得意な分野でご登録いただいております。本年度新しいところでは学校行事等の移動時のマイクロバスの運転手のボランティア登録の方がお見えになりました。

南小ボランティア紹介の会



北小ボランティア紹介の会



新公民館登録グループ活動紹介

ひまわりの会

日常に歌を～誤嚥性肺炎の予防にも!?～

代表 小石峯暁子

日々の生活の中で、歌う機会はどこにでもありますか？歌うって、なかなか日常的ではないですよね？音楽を生業としていない私も、つい日々追われて「歌」を忘れたように生きる日もあります。

でも「歌う」と身体が喜んでるように感じます！何か気怠い時に、深呼吸をしたり、外に出て歩いてみると、身体も心も爽快に目が覚めたような感覚。歌うと、そういう

気持ちよさを私は感じます。これは、唾液分泌を促進して嚥下機能の改善にもつながります。皆さんとお顔を合わせ、セミナー棟からの綺麗な景色を眺めたり、お話をしながら、気持ちよく声を出して歌うコツをお伝えしていきます。季節の美しい歌、懐かしい歌、憧れの歌ってみたい歌、リクエストもOK！色々な楽曲を使って沢山声を出していきます！

のプレゼントもお楽しみいただけたら嬉しいです。身体も心も気持ちのよい豊かなひと時をご一緒できることを楽しみにしています。お気軽にお問い合わせ下さい。



なぜ？それらの要因を理解すること。しかし、村人たちがその解決の方向に向かうことはそう簡単なことではない。さまざまな社会問題を抱えながらも、永い間に渡り、活動を継続するなかで、議論し理解する。初めて歩む方向性と活動がおきてくる。

自発性をもつ参加型の活動をつくる

村人や若者たちが貧困の状況を理解し、その解決に向けて計画を立て、実践し、行動すること、その道のなんと困難なことであるのか、ふりかえてみてそう思う。八〇年代は、草の根の交流から国際的な開発援助への、組織的な活動体を創り出す前夜でもあった。

『自発性をもつひとりが責任のある活動を担い進めていく』この理想としていた体制が、限界を迎えてきていたのだ。専従の有給スタッフたちも、その激務に悲鳴をあげていた。行き詰まった。バングラデシュより帰国した駐在員からも過大な問題提起もおきていた。

自発性ボランティアの危うさ

私たちの、市民による海外協力の会「シャプラニール」は、自発性のある個人の活動体として、あえて組織の規定や代表役員を定めていなかった。その活動に責任を持つ有志によって運営され、時に応じて必要性あれば決議決定する、自由な組織体をめざした。

彼らとともに急速、鎌倉合宿で組織の運営体制と、活動の今後の方向性を定める二泊三日の総会が開かれる。会の責任を担う運営部門と責任委員をまず決めた。発足以来のメンバーということで、会の初代の代表は福澤…と決められてしまった。

各種の勉強会も開かれた。開発援助論から、バングラデシュ手工芸品の販売やバザール企画など、いくつもの活動体をつくり各地で行動し、そのネットワークをつくりあげていった。

それからは、中期展望の作成から組織体制の拡充と活動目的の明文化、会則の決定はじめ、会報編集から会員サポートや活動資金の獲得まで、その後に続く数年間は、デザイン制作など本業との兼務で、僕は日夜、家に帰ることもできない状況になってしまったのだ。

その関係性には、長期にわたる協力体制であること、相互に理解され共有されたプログラムであることが重要になる。私たち日本の若者とバングラデシュの農民たちが、『教育こそが子どもたちの未来に重要だ』『なぜ私たちは貧困なのか』『学校に通うことができないのは、



写真／バングラデシュ・ハタザリ村の子どもたち

二〇一三年暮れ八代亜紀が亡くなった。八代の代表曲と言えはやはり『舟歌』と『雨の慕情』であろう。レコード大賞や歌謡大賞などの賞レースに歌謡界の誰もが全力で挑んだ時代、八代にレコード大賞をもたらすことを目的に、作詞家阿久悠と作曲家浜圭介がタッグを組んで世に送り出した楽曲として知られる。

二人が八代に作品を提供するのは初めてのことです。その第一作が『舟歌』だった。二人とも美空ひばりをイメージして書き、温存していた楽曲だったという。八代にとっては初めての男歌で不安もあったらしいが、ヒット。プロジェクトは好スタートを切った。予定になかった男歌の『舟歌』

歌は世につれ～

四十四話

憂鬱な雨の季節に聴きたくなる

『雨の慕情』

上佐原 小池 光好

けも子どもたちが真似をして、世代を超えたヒットにつながった。『雨の慕情』は一九八〇年の日本歌謡大賞と日本レコード大賞を受賞。さらにNHK紅白で大トリを務め、三冠を達成した。



一九八〇年の紅白と言えは『北の国から』の第八話を思わずにはいられない。電気が来ていない黒板家。純と螢は大海日友たちの正吉の家に紅白を見に行くことになったのだが、正吉の家に入ろうとすると、正吉が帰省した母親と楽しそう

とよおか100年前

『豊丘村民話集』より

惣兵衛堤防の光りもの

伴野 菅沼民二

市田の天竜社ができたばかりの時分、惣兵衛堤防に光りもの(人魂)があるという噂。確かに毎夜というわけではないが、時折、大きな光りものを見た。自分も若かったし、夜の網打ちは得手でいたので、これをとってやろうと夕食を済ませ網をひつついで出かけた。さて橋を渡り、いよいよ堤防の杉木立へかかると、いくら血気盛んな自分でもブルブルと身震いが起こった。

その途端、自分の後を何か走った。ひよっと見るとなんと大きな大きなキツネじゃないか。夜目にも確かに大きなキツネ。長いしっぽは光ってとんだ。腰が抜けんばかりとはこのことか。こんなことどうする、さ

あ目指す光りものは……。

とにかく網を打ってみる。魚のツボを外れた網には何もかかってこない。それより第一、光りものの生息と腹の底へ力を入れてまとも網も打つ。

確かに手応えがあった……。

……が、何しろ重い。網は少しも動かない。必死になって引張った。まてよ、網を破っては台無しだ。ここで慎重にと手探りしてみた。しかし硬い硬い、大きい大きい、重い重いどうにもならない。さて、やっぱり

さっきのキツネの仕業かな。なにだまされるものか。手応えのあった大物はどうやら大木の根っこらしい。それが何年も水にさらされた腐ったりし、流れによってぐるぐる回って青い光を発していたらしい。確かに大きく手や網に負えない怪物でした。

（一八六三）京都の長州藩邸に匿つてもらっていた時、当時の藩主毛利敬親から賜ったものです。白鞘だったものを、多勢子が後に設えて、「敷島の大和心を人問わば朝日に匂う山さくら花」という本居宣長の歌を金文字で書き込みました。

多勢子の長州藩邸滞在は一ヶ月程でしたが、「面白い婆さん」ということで敬親侯から随分気に入られたそうです。ちなみに、敬親侯は「そうせい侯」と呼ば

第55回ナイターソフト

5ヶ月間の熱戦がスタート

夜間ソフトボール連盟 武田 徹

令和七年第五十五回夜間ソフトボール大会が、五月二十日から開幕しました。本年も昨年同様十チームの参加がありリーグ戦がスタートしました。

十九日には開会式が行われ連盟会長あいさつ、壬生教育長から祝辞をいただき、「いづくに会」河合主将の力づよい選手宣誓が行われました。

開会式終了後には、飯伊ソフトボール連盟の岡島大澤審判員を講師に、審判講習会も行われました。本年度は三人制の審判方法を学びリーグ戦で採用する審判員の動きを学べる機会となりました。

今年のリーグ戦は、十チーム総当たりのリーグ戦を前後期行うこととなり、五月から十月上旬までの長丁場となります。各チーム

十八試合を行い優勝チームを決定します。

五十回を迎えるナイターソフト、ここ数年は十チーム参加と固定していましたが、以前は倍近いチームが、豊・丘両ブロックに別れ優勝を争う盛り上がりがあった大会です。時の流れによりその時代に合わせた大会運営となっています。

久しぶりの前後期リーグ戦。長丁場の大会となりますが、ケガ無く、楽しい大会となるよう願っているところ。選手の皆さんの健闘を祈っています。



▲写真1

◀写真2



（豊丘村民話集・第貳集）
（昭和五十二年）より）
文責：壬生雅穂

家の現当主である道生氏が当資料館においでになった際、「これは確か岩倉具視から賜ったものだと思っただろう」と言われました。

そこで、前島氏に確認したところ「明治になってからと思うが、確かに岩倉具視からいただいたものに相違ない」とのことでした。

以上、多勢子が歴史上の人物といかに深く関わっていたかを再認識させられる出来事でした。

（資料館主任 唐澤武彦）

俳句 短歌

空青く緑織り成す看取り道
田植時謝罪ニュースのラジオから
夫なくも初音に見覚む終の家
禅のことなんじゃもんじゃに問ふて
懸り藤暮色はるかに母忌日
段丘の人声轟々と花リング
一匹の地に戯れり鯉幟
柿若菜園児の命艶めきぬ
都をどり芸妓の指の白き舞ふ

片桐 洋子
森田 恵子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 純子
丸山 時子
林 恵美子
矢島千勢子
池田 美和

図書館だより 6月号

移動図書のご案内
七月の移動図書
一日(火) 伴野勤労者福祉センター
四日(金) 壬生沢福島集落拠点施設
時間 午後八時～九時

△本の紹介△
『大江戸花形絵師競 おもしろすぎる！』
堀口 菜純(文・絵)
山川出版社
富嶽三十六景 神奈川沖浪浦は、通称「The Gate Wave」という名で世界に親しまれています。これを描いたのは葛飾北斎ですが、

その人生はどのようなものだったのでしょうか。こうした日本を代表する浮世絵や絵師について多数書籍や画集が出版されていますが、本書は浮世絵を黎明期から黄昏期まで五つの章に分けて、様々な絵師の生い立ちとその人物像を、分かりやすく、少し辛口に紹介しています。

名前は聞いたことあるけれど、難しい本は抵抗があるという方には、手に取っていただきやすい内容になっていると思います。これを読んで作品を鑑賞すると、また違った見え方ができるでしょう。

最後に、絵師というテーマの本ですが、現在大河ドラマの主人公、葛屋重三郎も紹介があります。見聞きすることが少ない彼ですが、彼のプロデュース力とビジネスセンスは絵師達にとって大きな存在だったことが伺えます。

（図書館 山口里佐子）

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「旗」 福沢勝美 選
プーチンに白旗振らす手だて無く 山本 義彦
祭り旗世界の平和願って 林 もも子

軸吟…旗の波征った我が友八十忌
▼課題「加」 互選
疲れたな加減出来ない老いの欲 西元 峯子
新加入する人待つ豊柳会 福沢 勝美

▼自由吟 山本義彦 選
オスプレイ県に乗り込む強行へ 原 美風
孫からの一行メール弾むばば 小澤 凜

軸吟…トランプは強気を言っても老境に

泥だんご並びし園の鯉幟
雪の北岳向いて何もいふ事なし
夫逝けど桜一本さきほこり
喪の家芯に五月のとんびの輪
（とよおか短歌会）
友が来て村内めぐり花巡り段丘の村は桃源郷に
村の花こぶしと知った村の木は松たけ山の赤松だって
小学四年 筒井 嵐大
鶯の鳴き交わしいる林には緑の芽吹き辛夷花咲く
松尾ヒサコ
孫娘春風に乗り彼の元へ「仕事も家庭も僕に任せて」
福澤貴美恵
春風にキウイは芽吹き桜咲く伊那の谷間をウグイス渡る
福澤 郁文
残照は明日への装い天竜川の流れにひと時光を残す
毛涯百合子
花雲うぐいす歌う天竜河原に弥生のころより調べ整う
大原真由美
律儀にも二度芽あちこち芽を吹きぬ今年も納屋の片隅に春
福澤 亀人

～シリーズ～
No.257
豊丘の自然
ケラ
(バッタ目ケラ科)



今年一月から三月までNHKのドラマ10で放送していた「東京サラダボウル」国際捜査事件簿」ご覧になった方もいらっしゃるでしょうか。最初は松田龍平さん出演につられ見始めましたが、はまってしまつて最終回（九回）までずっとみました。多様な言語や文化が集まったまるで「サラダボウル」のような東京を舞台に、国際捜査係の刑事と警視庁通訳センターに

所属する警察通訳人が登場します。どんな被疑者に対しても、一人の人間として理解しようと接する奈緒演じる鴻田刑事の姿、現実でもこんな警察官がいたらいいと思いました。松田龍平演じる有木野（アリキノ）は中国語の通訳人です。外国人被疑者と警察官の言葉をつなぐ役割で、どんな場面の通訳にも共通することではあります。慣用句や独特の言い回し、更には方言などもキャッチしなければならぬ大変なお仕事です。ドラマには犯罪に関わる外国人ばかりでなく、異国の地で力強く生きていく人たちの姿も描かれていました。また、過酷な労働環境や借金を抱える苦しい生活環境も垣間見えました。

「豊丘サラダボウル」となる日もそう遠くない気がしていますが、職場や学校、またご近所づきあいで地域に暮らす外国人と接するとき、どんな言葉や態度で接していますか。「いやいや、英語苦手だから」「現地語なんてムリムリ」と

思った方、「やさしい日本語」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「優しい」「易しい」、どっち？と思われた方、どちらも正しいです。長野県に住んでいる外国人の国籍は令和五年末で百三十か国です。このうち英語圏がいくつあるかを考えれば、「外国人を見たら英語」ではないことは明らかです。ではその人の母語で対応できません。そしたら国内での共通語は日本語ということになります。ただわたしたちが日常使っている日本語そのままだと伝わりませんので、「やさしい日本語」ということになりま

「やさしい日本語」の考え方は、一九九五年の阪神・淡路大震災以降に、外国人に対して災害時の情報伝達を行う手段として始まりました。防災・減災の場面だけでなく、医療や行政などあらゆる分野でとり組まれています。考え方は新しいですが、言葉

は日本語ですので、日本語を話す人であれば、少しの心がけで使えるようになります。一つ目のポイントとして、簡単な言葉を使う、です。次の三つの言葉を簡単に言うとうなるでしょうか。（答えは欄外に）①納税 ②ヘルシー ③頭がずきずきする

このような、①漢語 ②カタカナ語 ③オノマトペ（擬音語、擬態語）などは、外国人にとって難しい言葉です。他のポイントについても次回以降少しずつ紹介したいと思います。あなたの普段の日本語、ちよつとふりかえてみませんか。

今月は久しぶりに見つけたおけら（子どもの頃、そう呼んでいた）を紹介する。ちよつと今ごろ、田植えの時期（現在は五月へと早まる）だったと記憶する。捕まえて、すばやく手の平のせて軽くにぎる。すると、中々、もぞもぞ動き回る。体長は約3cm。モグラのように土を掘るのに適した大きな前肢で。この、もぞもぞ感を楽しんでいた。名前がオケラではなく、

ケラであることを知ったのは大学に入ってから。先輩とのやり取りが忘れられないので書く。（山田君、この植物の名前、知っているか「分かります」「オケラだよ」「えっ、オケラは昆虫でしょ」「ちがうよ、それはケラだよ」）オ、一文字で、こんなにちがうのだと。追伸。

（今回は、写真を撮っただけで満足していたが、実は、ケラは地中で「じい」と鳴くのだそうだ。これを俗に「みみずが鳴く」という。確かめたことがまた増えた。（山田 拓）

ケラであること知ったのは大学に入ってから。先輩とのやり取りが忘れられないので書く。（山田君、この植物の名前、知っているか「分かります」「オケラだよ」「えっ、オケラは昆虫でしょ」「ちがうよ、それはケラだよ」）オ、一文字で、こんなにちがうのだと。追伸。

ケラであること知ったのは大学に入ってから。先輩とのやり取りが忘れられないので書く。（山田君、この植物の名前、知っているか「分かります」「オケラだよ」「えっ、オケラは昆虫でしょ」「ちがうよ、それはケラだよ」）オ、一文字で、こんなにちがうのだと。追伸。

ケラであること知ったのは大学に入ってから。先輩とのやり取りが忘れられないので書く。（山田君、この植物の名前、知っているか「分かります」「オケラだよ」「えっ、オケラは昆虫でしょ」「ちがうよ、それはケラだよ」）オ、一文字で、こんなにちがうのだと。追伸。

ケラであること知ったのは大学に入ってから。先輩とのやり取りが忘れられないので書く。（山田君、この植物の名前、知っているか「分かります」「オケラだよ」「えっ、オケラは昆虫でしょ」「ちがうよ、それはケラだよ」）オ、一文字で、こんなにちがうのだと。追伸。

ケラであること知ったのは大学に入ってから。先輩とのやり取りが忘れられないので書く。（山田君、この植物の名前、知っているか「分かります」「オケラだよ」「えっ、オケラは昆虫でしょ」「ちがうよ、それはケラだよ」）オ、一文字で、こんなにちがうのだと。追伸。

ケラであること知ったのは大学に入ってから。先輩とのやり取りが忘れられないので書く。（山田君、この植物の名前、知っているか「分かります」「オケラだよ」「えっ、オケラは昆虫でしょ」「ちがうよ、それはケラだよ」）オ、一文字で、こんなにちがうのだと。追伸。

多文化カフェ Vol.2
サラダボウルではやさ日！
小園 大澤 志那子

今年一度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

新編集委員紹介
培ったフットワークと
周りのサポートを頼りに
池野 隆



1/5000 F16 -0.7 35mm ISO200



1/30 F9.0 +0.7 16mm ISO1250



1/20 F11 -1.7 12mm ISO2000

旗がはたらく部分は動きをブレとして流し、さほど動かない人物はストロボで動きを止める高度なテクニックを使っています。夕闇の中で保育園での七夕まつりを楽しむ子供たちを広角で狙いました。手作りのキャンドルに嬉しうな表情を待ってチャンスをつまっています。この起点は縦構図ですので上部にあります。手前に広がり迫ってくる構図で迫力を出しているため、見所は半分より下部に重心を作り安定感を出した。上が重いとふつき感を与えるため縦の構図では注意しなければならぬ。また、横での撮影でも左右への傾きを考え絵柄の傾きを少なくする事が大切。フォトマスター級 宮下正弘



立体表現が得意
写真は平面で描写する絵画と同じ表現手法でもあり

立体表現が得意
写真は平面で描写する絵画と同じ表現手法でもあり

立体表現が得意
写真は平面で描写する絵画と同じ表現手法でもあり

立体表現が得意
写真は平面で描写する絵画と同じ表現手法でもあり

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

今年度、館報編集委員を務めさせていただきま

豊丘村公民館 SNS
フォロー&いいね お願いします！
Instagram X ホームページ